MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン

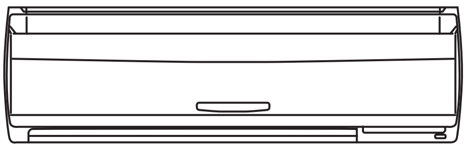
Mr.SLIM 室内ユニット

冷媒410A対応

取扱説明書

形名

PKH-RP・KAL7



PKH-RP56KAL7

PKH-RP63KAL7

PKH-RP71KAL7

PKH-RP80KAL7

●お使いになる前に

●運転のしかた

●お手入れのしかた・困ったときに



このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、
まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この説明書を必ずお読みください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管ください。
- 保証書は「お買上日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管ください。
- お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。
- お客さまご自身では据付・移設をしないでください(安全や機能の確保ができません)。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■"図記号"の意味は次のとおりです。

禁止	アース線接続
指示を守る	水ぬれ禁止
ぬれ手禁止	

⚠警告

長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。



禁止

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。また、ワイヤードリモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。

電源を切る

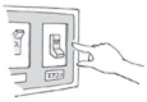
お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。

分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

清掃及びメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る

ファン及びファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。



電源を切る

エアコン及びリモコンを水洗いしない

ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電・発火の原因になります。



水濡れ禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を!

内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。



濡れ手禁止

万一冷媒が洩れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う

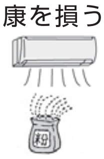
冷媒が洩れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。

換気

⚠注意

粉が浮遊する作業場等では使用しない

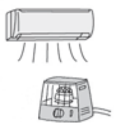
粉じんなどにより機器の故障や健康を損う原因になります。



禁止

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。



設置禁止

室内ユニットの金属部にさわらない

フィルターを外したときにケガの原因になります。



禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度78%以上）時の長時間運転及びホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。

設置禁止

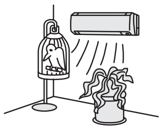
特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。品質低下の原因になります。

使用禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



設置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。



使用禁止

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。



換気

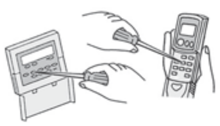
フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。

禁止

リモコンを先がとがった物で押さない

故障の原因になります。



禁止

フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。



保護具着用

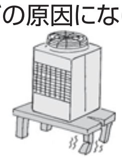
エアコンの近くで火気（調理器具など）を使用しない

熱により、エアコンが変形したり、発火する原因になります。

使用禁止

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない
落下・転倒によるケガの原因になります。

禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない
ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。

放置禁止

運転中に冷媒配管に触れない
素手で触れると凍傷や、やけどになる恐れがあります。

禁止

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る
運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

電源を切る

エアコンの下方に食品や食器を置かない
ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。
食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は充分ご注意ください。
禁止

室内を薬品消毒するときにはエアコンに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、エアコンを停止する
薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。
エアコン停止

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品及び薬品から発生したガスを充分排気してから、エアコンを運転する
薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸い込んだりするとエアコンの腐食、変形の原因になります。
換気・送風運転

据付時　次の項目をご確認ください。

⚠警告

据付けは、お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください
据付け

漏電遮断器を取付ける
取付けていないと、感電の原因になります。

漏電遮断器

元電源の取付位置を確認する
元電源

据付や移設の場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。
- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらす恐れがあります。

禁止

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること
ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。
設置場所

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する
異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。
専用回路

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない
据付禁止

使用される別売部品は当社指定品であること
別売部品は、必ず当社指定のものであること。
お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。
お買い上げ販売店にご依頼ください。
別売部品

当社指定の冷媒（R410A）以外は絶対に封入しない。
- 法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生の恐れがあります。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書あるいは銘板に記載されています。
- それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

禁止

⚠注意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・洩れの恐れのある場所へは据付けない
万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。
設置禁止

ドレン配管は確実に行う
配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。
排水

アース工事を行う
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
アース工事

●冷媒（フロンガス）についてのご注意
このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが洩れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。
（冷媒が洩れたときの処置）
万一冷媒が洩れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして充分換気を行ってください。その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください。
- 可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 機械油を使用するところ
- 車輌・船舶など移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪の多いところ

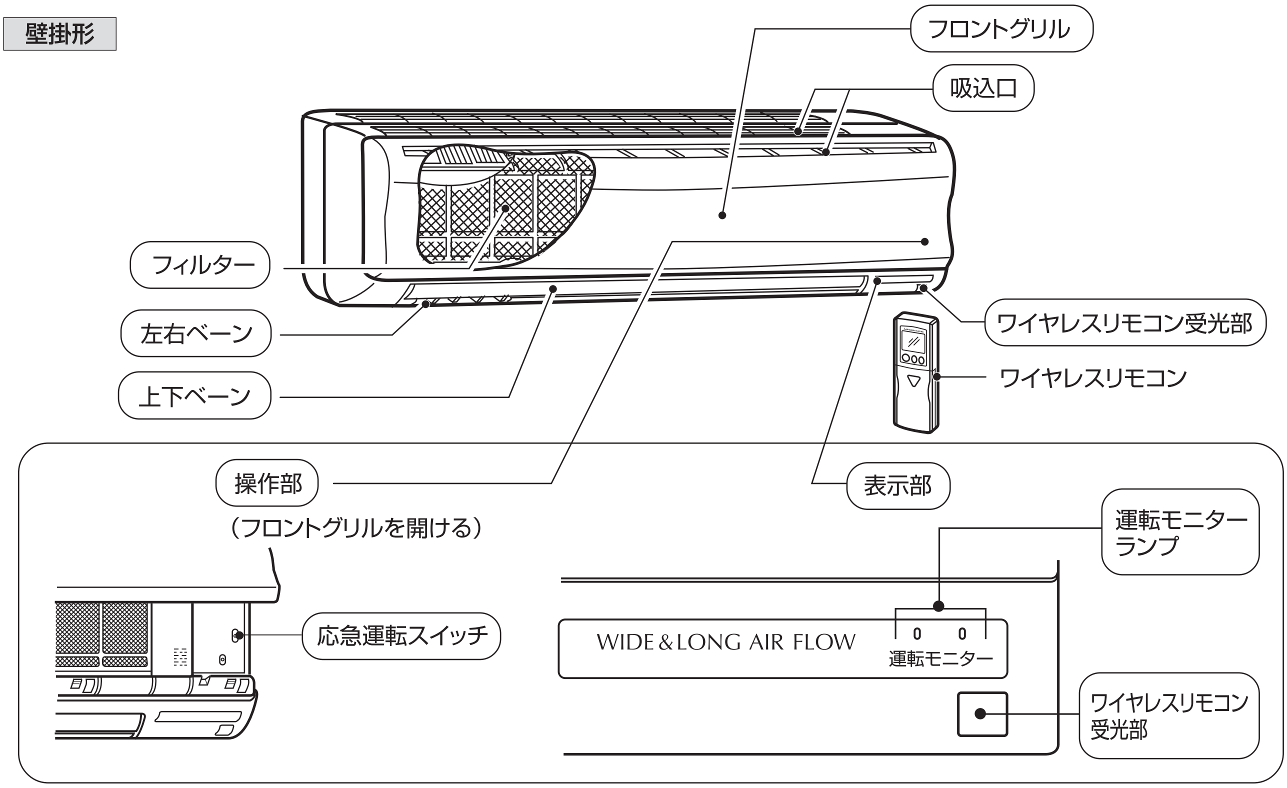
（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

各部のなまえ

室内ユニット

PKH-RP56・63・71・80KAL7形

壁掛形



室内ユニットの運転表示

室内ユニット運転モニターの右側のランプは運転状態を示します。

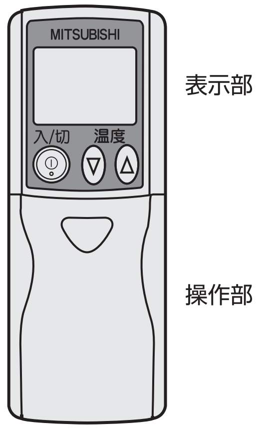
運転モニター　（点灯）（消灯）

点灯
点滅
消灯

運転モニターランプ

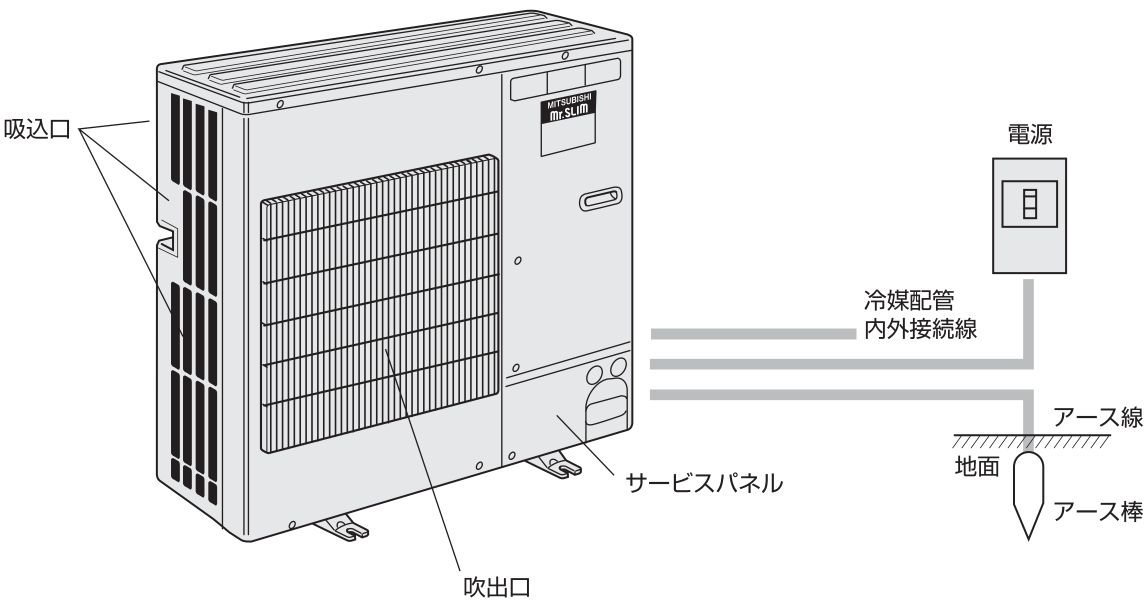
運転モニター	運転状態	リモコン設定温度と室温の差
点灯・点灯	設定温度に到達するためにエアコンが運転しています。室温が設定温度に到達するまでお待ちください。	およそ2℃以上
点灯・消灯	室温が設定温度に近づいていることを示します。	およそ2℃以内
点灯・点滅	運転待機状態です。	——

リモコン



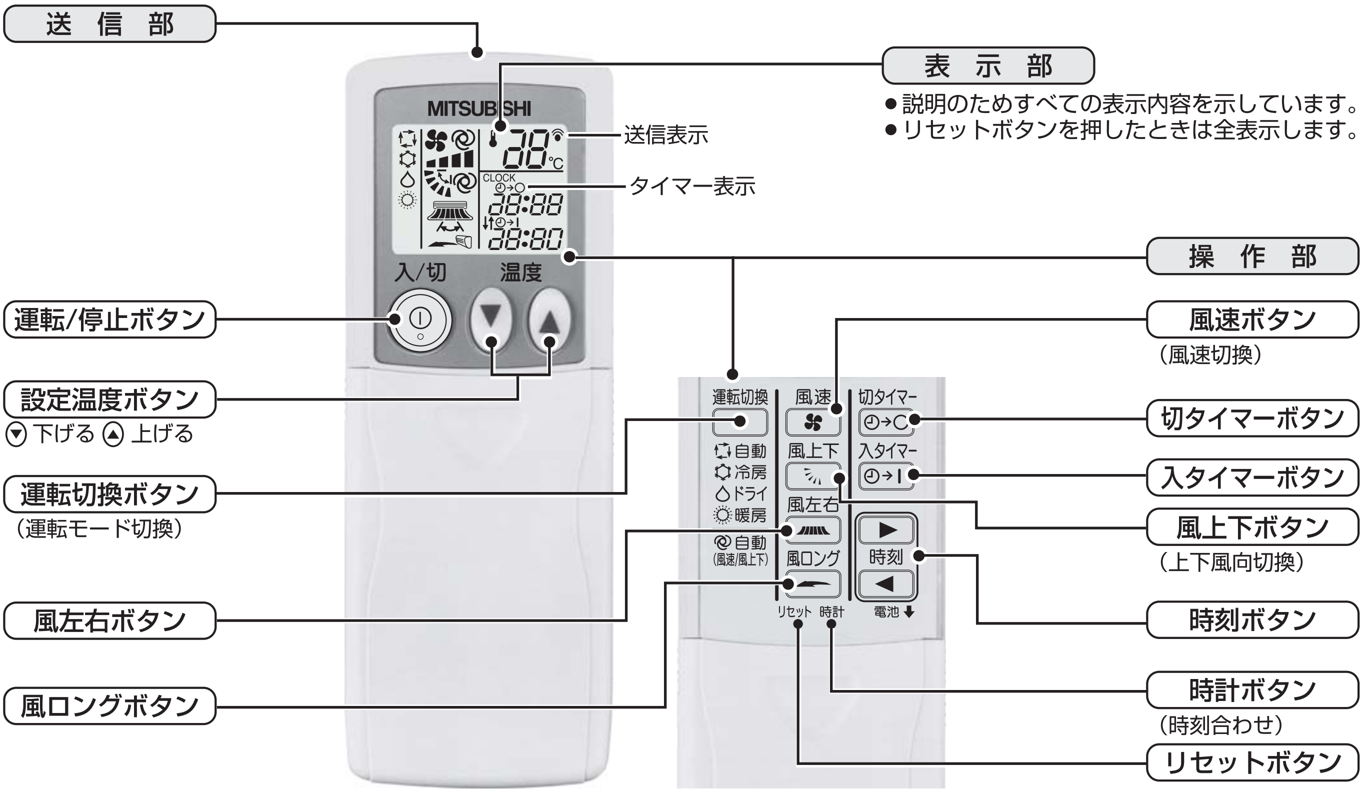
ワイヤレスリモコン
（室内ユニットに同梱）

室外ユニット



各部のなまえ

ワイヤレスリモコン（室内ユニットに同梱）



フタを下ろした状態

■リモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。

■信号の届く範囲は直線方向で約6m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。

■受光部付近の運転モニターランプが点滅しているときは点検が必要です。お買上げの販売店へご連絡ください。

■リモコンの取扱いは大切に！　落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。

■紛失防止のためにリモコンホルダー（室内ユニットに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

■ボタンを押すと室内機から"ピッ"または"ピッピッ"という受信音がします。
音がしないときは操作をやり直してください。

■運転中は"ピッ"または"ピッピッ"、停止するときは"ピー"と音が鳴ります。

■ボタンを連続的に押すと、押し終わったあとにリモコン信号が送信され、受信音が鳴ります。

■表示部には液晶（材質：ガラス）を使用しており、落下による破損で表示が点灯しなくなる場合がありますので十分注意してください。

乾電池について

乾電池の交換目安

信号が届きにくくなったり、表示がうすくなったり、ボタン操作時に冷房運転になったときは、2本とも新しい単4形アルカリ乾電池と交換してください。

●乾電池の寿命は約1年間です。
マンガン乾電池を使用すると誤動作することがありますので使用しないでください。付属の乾電池は最初にお使いいただくために用意しているもので、1年に満たないうちに消耗することがあります。

⚠ 注意　乾電池取扱い

●乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときはきれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。

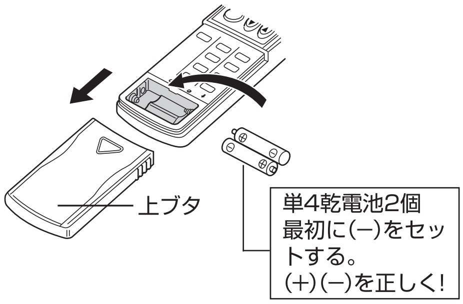
お願い

■液漏れによる故障をさけるために長期間ご使用にならないときは乾電池を全部取出してください。

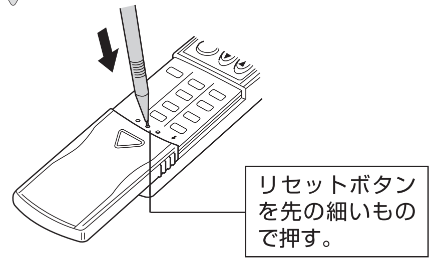
■充電式乾電池は使用しないでください。

電池組込み／交換／時刻設定の方法

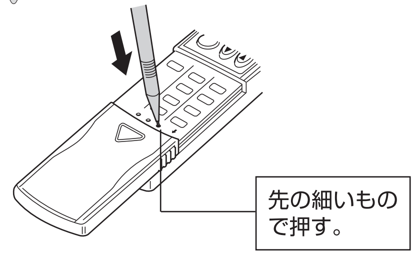
1 上ブタを引き抜き、単4乾電池2個を入れて上ブタを取付ける。



2 リセットボタンを押す。



3 時計ボタンを押す。



4 ▶ボタン・◀ボタンを押し、現在時刻を合わせる。



● ▶ ボタンを押すごとに1分進みます。
◀ ボタンを押すごとに1分戻ります。

● ▶ 、◀ ボタンを押し続けると10分毎に表示が切り換わります。

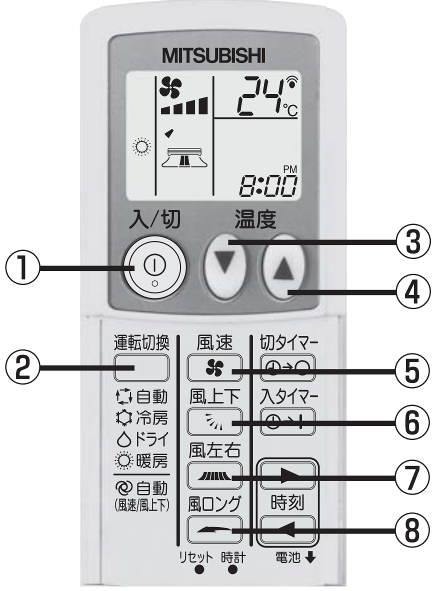
5 時計ボタンを押し、上ブタを閉める。

お願い

■リセットボタンを押さないと、正しく作動しないことがあります。

■リセットボタン、時計ボタンを強く押しすぎないように注意してください。

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた



運転の開始、運転モードを選ぶとき

1 入/切 **ボタン①を押す。**

表示が点灯します。

2 運転切換 **ボタン②を押す。**

1回押すごとに設定が切換わります。

（自動）→（冷房）→（ドライ）→（暖房）

設定温度を変えたいとき

室温を下げたいとき… ▽ ボタン③を押す。

室温を上げたいとき… △ ボタン④を押す。

- 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
- 温度設定範囲は次の通りです。

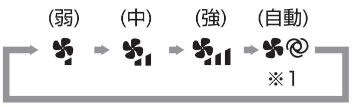
冷房運転	暖房運転	自動運転	ドライ運転
19～30℃	17～28℃	19～28℃	設定できません

※ リモコン上は16～31℃の範囲で表示できますが、表中の温度設定範囲にてご使用ください。

風速を変えたいとき

風速 **ボタン⑤を押す。**

- 1回押すごとに設定が切換わります。



※1 設定温度と現在温度差が大きいと風を強め、差が少なくなると徐々に風を弱める運転を自動的に行います。

お知らせ

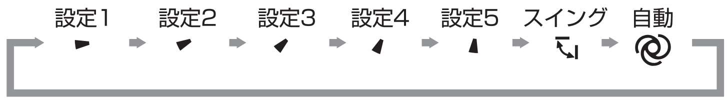
■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
- 暖房運転直後（モード切換待機中）
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
- 暖房霜取運転中

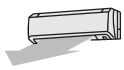
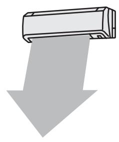
運転開始の前に… 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

上下風向を変えたいとき

風上下 ボタン⑥を押す。

● 1回押すごとに設定が切換わります。



	冷房　ドライ	暖　房
自動	設定1 になります。	設定4 になります。
設定1 設定2 設定3 設定4 設定5	設定3 、4 、5 のままで運転すると水滴が落ちることがあります。これを防ぐために約30分～1時間運転すると、フラップが自動的に設定1 になります。元の風向に戻したいときは、もう一度リモコンで 風上下 ボタンを操作してください。  	暖房運転開始時や霜取り運転中などは、冷たい風が体に直接当たるのを防止するために水平吹きになり、微風運転になります。  吹出す風が暖かくなると、設定した風向になります。 
スイング	設定1 ～設定5 の風向の間を間欠的にスイングします。 設定1 と設定5 の風向でしばらくフラップが止まります。	設定2 ～設定5 の風向の間を間欠的にスイングします。 設定2 と設定5 の風向でしばらくフラップが止まります。

お知らせ

■このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
- 暖房運転直後（モード切換待機中）
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
- 暖房霜取運転中

左右風向を変えたいとき

風左右 ボタン⑦を押す。

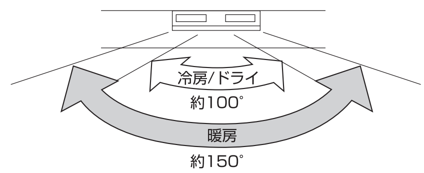
● 1回押すごとに設定が切換わります。



- 作動時…風を自動的に左右に拡散します。
- 停止時…風を任意の方向で固定します。

お知らせ

■部屋の隅々まで風を行きわたらせたい場合は、スイングに設定してください。
- 左右風向範囲



運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

風ロング運転

風ロング ボタン⑧を押す。

風速が高くなります。
風速設定が 自動 の場合、風速は設定時の室温と設定温度によって決まる風速より高くなります。
さらに、上下ベーンは風ロング運転の設定に切換わります。

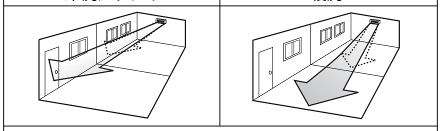
風ロング運転を解除するとき

もう一度 風ロング ボタンを押します。

お知らせ

■風ロング運転のメカニズム
例）左右風向設定が前吹出 の場合

冷房／ドライ	暖房



風速：高い設定
実線の矢印：風ロングの場合
破線の矢印：風ロングではない場合

■風ロング運転は以下の方法でも解除できます。
● 風上下 ボタンを押す。
■室内ユニットの設置場所によって、風ロング運転に設定しても十分に風が行き届かない場合は、風速 ボタンを押し、風速を強に設定してから、風ロング ボタンを押してください。
■風ロング運転設定中は、入/切 、風速 、風左右 および ▽ △（設定温度）ボタンとタイマー運転は有効となります。

運転を停止するとき

入/切 ボタン①を押す。

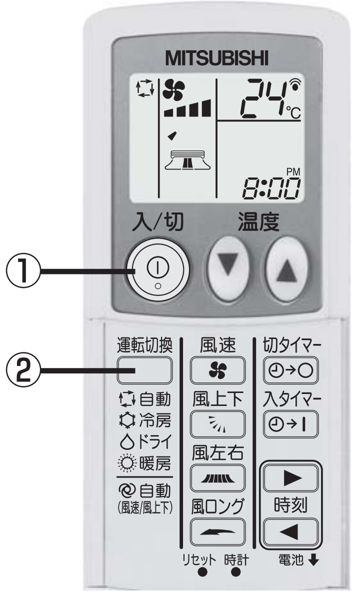
リモコン設定内容

■ワイヤレスリモコン電池組込み／交換時の初期設定※1及び、ワイヤレスリモコンでの再運転時は右記設定※2となります。
■電池を入れた場合や交換した時には必ずリセットボタンを押してください。(7ページ参照)
● リセットボタンを押さないと正しく作動しないことがあります。
● リセットボタンを強く押しすぎないように注意してください。

	初期設定※1	再運転時内容※2		
運転モード	自動	前回の運転モード		
設定温度	24℃	前回の設定温度		
風　速	自動	運転モード	冷房・ドライ・暖房	前回の設定風向
			自動	自動
上下風向	自動	運転モード	冷房・ドライ・暖房	前回の設定風向
			自動	自動
左右風向	設定1	前回の設定風向		
風ロング運転	無効	運転モード	冷房・ドライ・暖房	有効
			自動	無効

⚠注意	運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因となることがあります。

自動運転のしかた



自動運転を行うとき

1 入/切 ボタン①を押す。

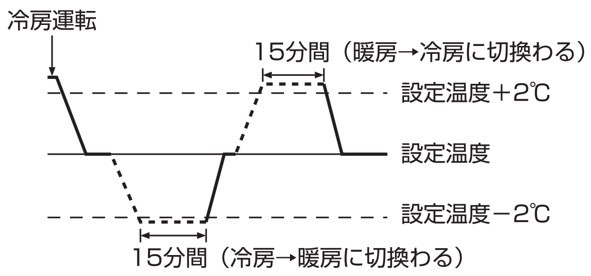
2 運転切換 ボタン②を押す。

表示を  にする。

自動運転とは

■設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。

■自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切換わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切換わります。



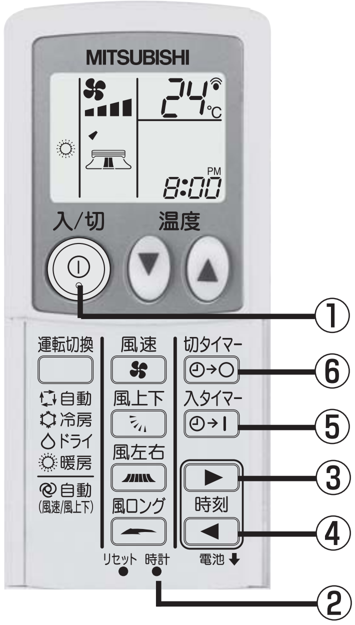
■体感温度を一定に保つように室温を自動的に調節しますので、室温が設定温度に到達した後は、冷房では少し高め、暖房では少し低めで運転します。（省エネサイクル自動運転）

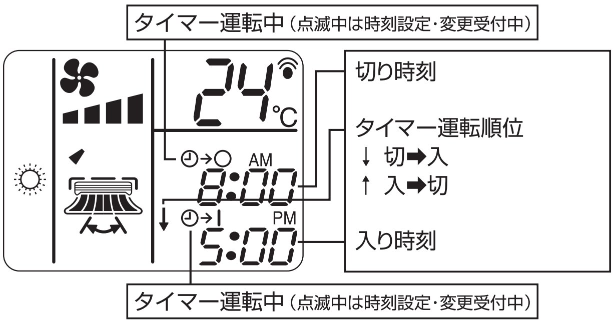
タイマー運転のしかた

タイマー運転の設定は、ワイヤレスリモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから“ピッ”と音のすることを確認しながら行ってください。

■タイマー運転には次の3つの方法があります。
- 入タイマー運転 運転の開始のみをタイマーで行う。
- 切タイマー運転 運転の停止のみをタイマーで行う。
- 入⇄切タイマー運転 運転・停止の両方をタイマーで行う。

■タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。
■タイマー時刻設定は、10分単位です。
■時刻設定の方法は、7ページを参照してください。





入りタイマー運転を行うとき

1 入/切 ボタン①を押す。

リモコンに表示がでます。

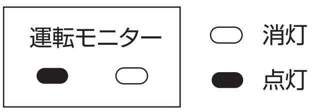
2 入タイマー ボタン⑤を押す。

現在時刻が消灯し、入り時刻が点灯します。“ ⊙→| ”表示が点滅します。

3 ▶ ボタン③・◀ ボタン④を押し、入り時刻を合わせる。

- 入タイマー時刻設定後“ ⊙→| ”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、入タイマー設定が完了します。
- エアコンの運転は自動的に停止し、入り時刻 まで待ちます。

■設定中に“ ⊙→| ”表示が点滅から点灯に変わった時には 入タイマー ボタン⑤を押した後、手順 2 からやり直してください。
■ 入り時刻 までの間、室内ユニット運転モニターのランプは、下図の状態になります。



切りタイマー運転を行うとき

1 入/切 ボタン①を押す。

リモコンに表示がでます。

2 切タイマー ボタン⑥を押す。

現在時刻が消灯し、切り時刻が点灯します。“ ◴→○ ”表示が点滅します。

3 ▶ ボタン③・◀ ボタン④を押し、切り時刻を合わせる。

●切タイマー時刻設定後 “◴→○” 表示は10秒間点滅して点灯に変わり、切タイマー設定が完了します。
■設定中に“◴→○”表示が点滅から点灯に変わった時には 切タイマー ボタン⑥を押した後、手順 2 からやり直してください。

入⇄切タイマー運転を行うとき

入タイマー・切タイマー両方の設定をする。

● ↑↓表示は↑または↓どちらかが表示され、
↑は、停止 ➡ 運転（入り時刻）➡ 停止（切り時刻）
↓は、運転 ➡ 停止（切り時刻）➡ 運転（入り時刻）
を表します。

タイマー運転を解除するとき

入タイマー運転を解除するとき

入タイマー ボタン⑤を押す。

●入り時刻が消灯し、入タイマーは解除されます。

切タイマー運転を解除するとき

切タイマー ボタン⑥を押す。

●切り時刻が消灯し、切タイマーは解除されます。

入⇄切タイマー運転を解除するとき

入タイマー ボタン⑤と 切タイマー ボタン⑥を押す。

●入り時刻と切り時刻が消灯し、タイマーは解除されます。

タイマー運転を解除し、エアコンを停止するとき

入/切 ボタン①を押す。

●エアコンは停止します。同時に、設定されていたタイマー運転も解除されます。

お知らせ

■タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、
次の運転は自動的に連続運転となります。

もっと知りたいとき

ドライ運転とは

■お部屋の温度が下がるのを抑えながら、湿気を取除く運転をします。
■温度調節（温度設定）はできません。リモコンの設定温度表示は消えます。
■室温をやや下げる運転をしています。

お知らせ

■ドライ運転を開始すると室温を正しく検知するため送風運転を約3分間行い、室外機の運転を開始します。
その間、送風は変更できません。
■ドライ運転中は、ドライ運転に切換える直前の室温に対して1℃から3℃下がる場合があります。



暖房運転について

■暖房開始時に風が弱い：吹出し空気が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。
■風速が設定どおりにならない：室温が設定温度となり、風速は微風となります。
■風が出ない：ワイヤードリモコンに"霜取中"表示中は風を出しません。

ミスタースリムの使用温度範囲

		室　内	室　外※1
冷房・ドライ	乾球温度	19℃～32℃※2	−5℃～43℃
	湿球温度	15℃～23℃	——
暖　房	乾球温度	17℃～28℃※2	−11℃～21℃
	湿球温度	——	−12℃～15℃

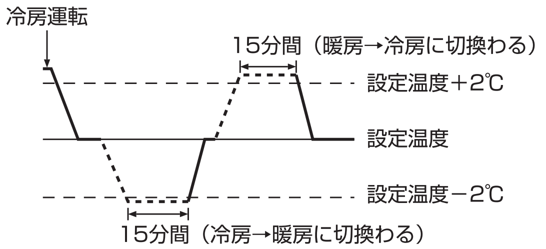
※1 室外ユニットにより表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書等でご確認ください。
※2 リモコン上は16～31℃の範囲で表示できますが、表中の温度範囲にてご使用ください。

霜取中とは

■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。
霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。
■霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

自動運転とは

■設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
■自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切換わります。また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切換わります。



上手な使い方

上手な使い方－ “ミスタースリム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

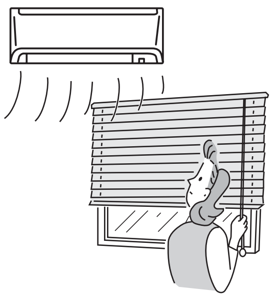
室内温度（室温）は最適に

■冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
■冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
■たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



冷房時は熱の侵入を少なく

■冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
■出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



長時間直接お肌に風をあてない

■長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
■特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



フィルターの清掃を

■フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房･暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。
また、露付・露たれの原因にもなります。



中間期にはドライ運転を

■ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
■ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じることがあります。ドライ運転をご利用ください。



室内の温度ムラ解消に風向調節を

■冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
■暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。



ときどき換気を

■長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。



「故障かな？」と思ったら

故障かな？	お答えします。（故障ではありません）
よく冷えない。よく暖まらない。	■フィルターの清掃をしてください。（フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです） ■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ■室外ユニットの周囲空間を広くあけてください。室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか？ ■窓やドアが開いていませんか？ ■風速を弱、自動で運転している場合、冷えや暖まりが悪い場合があります。このような場合は風速を中、強に変更してください。 ■圧縮機の予熱中です。外気温度が-20℃より低い条件で電源を入れた場合、最大で4時間運転できない場合があります。（※PUZ-HRP80～160形の場合）
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。暖房準備中表示がでる。	■充分に暖かな風をおとどけするため準備中です。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。
風向が途中で変わる､風向が設定どおりにならない。	■冷房運転中、下吹出しで使用しますとベーンが自動的に1時間後に水平吹出しになります。これは水滴が滴下するのを防ぐためです。 ■暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
部屋がにおう。	■エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、又は衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。
室内ユニットより白い霧がでる。	■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。 ■霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。

故障かな？	お答えします。（故障ではありません）
室外ユニットより水がでる。	■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。 ■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。 ■霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。	■約3分間お待ちください。 （エアコンを保護するため、止まっています）
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	■入タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。 ■停電自動復帰を設定していませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	■切タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
ワイヤードリモコンにエラーコードが表示される。	■保護機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。
騒音が仕様値よりも高い。	■室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも高くなります。（下表参照）
ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	■乾電池が消耗しています。 乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。 ※新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方（＋、－）を再度確認してください。
運転モニターランプが点滅する。	■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では、絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名を連絡してください。

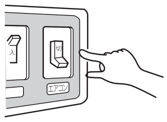
	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室等	応接室、ホテルロビー等	オフィス、ビジネスホテル
騒音アップ値	3～7dB	6～10dB	9～13dB

「故障かな？」と思ったら

お手入れのしかた

お手入れのまえに

■必ず、電源を「切」にしてください。



室内ユニット、リモコンの清掃

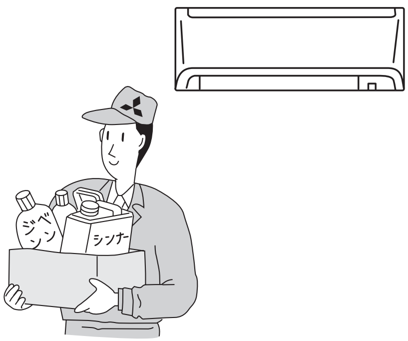
■やわらかい布でから拭きをしてください。



■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押したりしないでください。故障の原因になります。

■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。

■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。



フィルターの清掃

⚠注意	必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

⚠注意	フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。 また踏台に乗って行う時は、転倒しないように注意してください。

⚠注意	フィルターを取外した状態で運転をしないでください。 内部にゴミなどが詰まり、故障の原因になります。

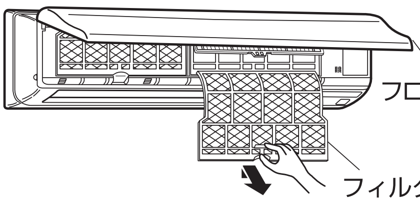
フィルター清掃時期

運転時間
100時間

1 フィルターを取外す。

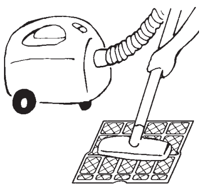
1 フロントグリルの左右の下側を手前に引きグリルを開け、エアフィルターを上に押し上げてください。

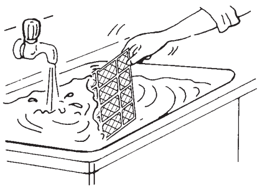
2 フィルター下部をユニットの引掛部から外し、手前に取り出してください。



2 フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

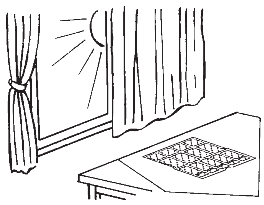
■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
■熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。



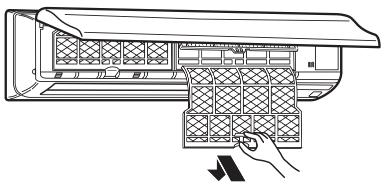


3 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。

■フィルターは直射日光や直接火にあてて乾かさないでください。



4 フィルターを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）



長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

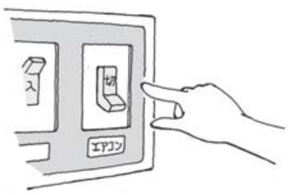
1 4～5時間、「暖房」モードで運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。



2 エアコンの電源を切る。

■電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。



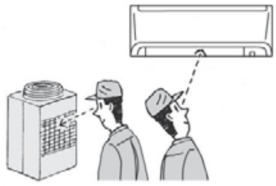
再度使い始めるとき

■下記作業 1 ～ 4 の点検を行い､異常の無いことを確認後､電源を入れてください。

1 フィルターを清掃して､取付ける。



2 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。



3 アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。



⚠注意	アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

4 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



5 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。
（電源を入れる場合は、必ず外気温度が－20℃より高い条件で実施ください。）

移設・工事について

移設・廃棄について

⚠警告	**据付や移設の場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。**
	● 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。 ● 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらす恐れがあります。

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

■据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

この製品はフロン回収・破壊法・第一種特定製品です。

■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

据付場所について

⚠注意	●可燃性ガスの洩れる恐れのある場所には据付けない。万一ガスが洩れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

次の場所への使用は避けてください。

■可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ

■硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ〈温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など〉
熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こす恐れがあります。

■鉱物油・機械油を使用するところ〈加工油を用いプレスや切削をする機械工場など〉
プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。

■車輌・船舶など移動するものへの設置

次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。（室内ユニット）

■食用油を使用するところ〈厨房など〉
プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。
厨房用エアコンまたはダクト空調を選定してください。

■湿気の多いところ
冷房時に結露しやすくなります。

■高周波を発生する機械（高周波ウェルダー、医療機器、通信機器など）を使用するところ
通信異常やマイコン誤動作の恐れがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。

■化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ〈理・美容院など〉
臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。

海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意（室外ユニット）

■海浜地区等塩分の多いところ
使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。

■積雪の多いところ
室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。（別売として用意しています。）

室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

⚠注意	●アース工事を行う。 アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になります。
	●据付場所（水気のある場所など）によっては、漏電遮断機を取付ける。 漏電遮断機が取付けられていないと、感電の原因になります。

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び据付工事説明書に従って施工してください。

■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に充分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。
性能低下や運転音増大のもとになります。

応急運転のしかた

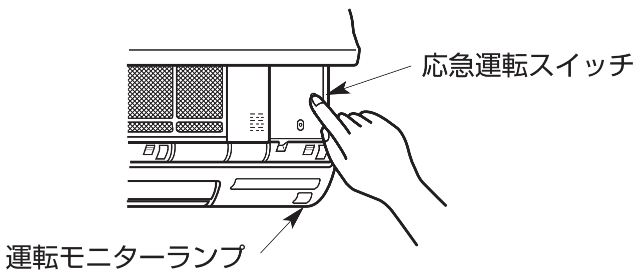
ワイヤレスリモコンが使えないとき

ワイヤレスリモコンの乾電池が切れたり、ワイヤレスリモコンが故障したときには、室内ユニットの応急運転スイッチを使って応急運転ができます。

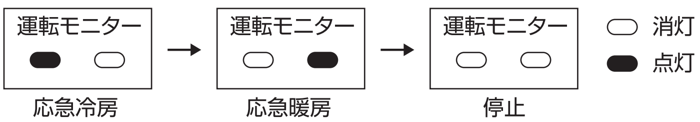
運転を開始したいとき。

● 応急運転スイッチを押す。
　1回押すごとに応急運転→応急暖房→停止の順に変わります。

　※これ以外の運転はできません。



室内機の運転モニターランプ（2個）を用いて運転内容を表示します。



※応急運転時の運転内容は下記になります。
　ただし、最初の約30分間は温度調節がはたらかず連続運転になり風速は強になります。

運転モード	冷　房	暖　房
設定温度	24℃	24℃
風　速	中	中
上下風向	自動	自動
左右風向	前回の設定風向	前回の設定風向

運転を停止したいとき。

● 応急運転スイッチを押して、「停止」にする。

保証とアフターサービス

●「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
●お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」(24ページ参照)へお問い合わせください。
●エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
●この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証書

■室内ユニットに保証書を添付しております。
セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
■保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

■パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後9年です。
■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

"「故障かな？」と思ったら"（16・17ページ参照）に従ってお調べください。なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際して、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代＋（出張料）などで構成されています。
■ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室内ユニットは、保証書に記入してあります。 室外ユニットは、室外製品名板に記入してあります。
3.お買上げ日	○○年○月○日
4.故障の状況	できるだけ詳しく （リモコンのエラー表示記号なども）
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

■エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
■点検と保全周期の目安［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1年	20,000時間
モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
センサー（サーミスタ、圧力センサーなど）		5年
ドレンパン		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。
①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
（機種によりことなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年と仮定しています。（氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。）
③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
⑤頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24時間空調など）

■消耗部品の交換周期目安［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
フィルター	1年	5年
平滑コンデンサー		10年
ヒューズ		10年
クランクケースヒーター		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

MITSUBISHI 三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内 （冷熱品）

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

お買上げ先へご依頼できない場合は

修理のお問合わせは → **修理窓口 へ**

その他のお問合わせは → **ご相談窓口 へ**

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間（三菱電機ビルテクノサービス株式会社）

北海道地区

道央地区
北海道冷熱サービスコールセンター
電話 (011) 862-1180 ファックス (011) 862-9497
札幌市白石区本通 20丁目南 4-2

旭　川 (0166) 25-1800
旭川市4条通 9-1703
(旭川北洋ビル6階)

帯　広 (0155) 24-1669
帯広市西3条 9-1
(帯広経済センタービル4階)

函　館 (0138) 51-8699
函館市五稜郭町 1-14
(住友生命五稜郭ビル6階)

東北地区

宮城県・山形県
東北冷熱サービスコールセンター
電話 (022) 224-1330 ファックス (022) 224-1343
仙台市青葉区花京院1-1-20（花京院スクエア）

青　森 (017) 722-7718
青森市長島 2-10-4
(ヤマウビル5階)

秋　田 (018) 836-7880
秋田市中通 2-3-8
(アトリオンビル8階)

八　戸 (0178) 45-7289
八戸市八日町 36
(第一ビル5階)

郡　山 (024) 922-8959
郡山市駅前2-11-1
(ビッグアイ内)

盛　岡 (019) 653-3732
盛岡市菜園 1-3-6
(農林会館6階)

いわき (0246) 24-2120
いわき市平字町田120
(LATOV内)

東関東 冷熱サービスコールセンター

千葉県・茨城県
電話 (047) 431-1194 ファックス (043) 224-3565
千葉市中央区富士見2-3-1（塚本大千葉ビル）

関越 冷熱サービスコールセンター

埼玉県・群馬県・栃木県・長野県・新潟県
電話 (048) 650-1194 ファックス (048) 650-1278
さいたま市大宮区仲町 1-110（大宮NSD）

東京 冷熱サービスコールセンター

東京都（町田市を除く）・山梨県
電話 (03) 3803-1194 ファックス (03) 3803-5290
東京都荒川区荒川 7-19-1（システムプラザB館）

横浜 冷熱サービスコールセンター

神奈川県・東京都町田市・静岡県東部（富士川以東）
電話 (045) 681-1194 ファックス (045) 311-8204
横浜市西区みなとみらい 2-2-1-1（ランドマークタワー内）

中部 冷熱サービスコールセンター

愛知県・岐阜県・三重県・静岡県西部（富士川以西）
電話 (052) 243-1194 ファックス (052) 243-1193
名古屋市中区栄 3-18-1（ナディアパークビジネスセンタービル）

北陸 冷熱サービスコールセンター

石川県・富山県・福井県
電話 (076) 224-1194 ファックス (076) 233-6205
金沢市広岡 3-1-1（金沢パークビル）

関西 冷熱サービスコールセンター

大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県・兵庫県
電話 (06) 6391-8531 ファックス (06) 6391-8545
大阪市淀川区三国本町 1-3-4

中国・四国 冷熱サービスコールセンター

広島県・岡山県・鳥取県・島根県・山口県・香川県
愛媛県・高知県・徳島県
電話 (082) 291-1194 ファックス (082) 503-2417
広島市西区南観音 8-14-21（中国資材センター内）

九州地区

福岡県・佐賀県
九州冷熱サービスコールセンター
電話 (092) 471-1194 ファックス (092) 474-8298
福岡市博多区豊 1-9-71（九州資材センター内）

北九州 (093) 551-2937
北九州市小倉北区浅野3-8-1
(アジア太平洋インポートマート内)

熊　本 (096) 356-6231
熊本市花畑町 9-24
(住友生命熊本ビル2階)

久留米 (0942) 34-6730
久留米市日吉町 16-18
(久留米センタービル内)

大　分 (097) 537-7191
大分市中央町 1-1-5
(大分第一生命ビル3階)

長　崎 (095) 826-8301
長崎市万才町 3-5
(朝日生命長崎ビル7階)

宮　崎 (0985) 23-3883
宮崎市高千穂通 2-5-32
(日本生命宮崎駅前ビル9階)

佐世保 (0956) 24-7718
佐世保市松浦町2-21
(九十九島ビル内)

鹿児島 (099) 226-1912
鹿児島市東千石町 1-38
(鹿児島商工会議所ビル)

沖　縄 (098) 866-1175
那覇市久茂地 1-3-1
(久茂地セントラルビル)

修理窓口 電話受付：365日 24時間（三菱電機システムサービス株式会社）

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

インターネット **www.melsc.co.jp**

携帯電話サイト
空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター ファックス (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111 （有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター ファックス (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901 （有料）

ご相談窓口（三菱電機株式会社）

三菱電機空調ワンコールシステム

店舗・事務所・ビルなどに設置する業務用エアコンに関するお問い合わせは

フリーコール **0120-9-24365**（無料）
空調 24時間365日

■技術相談　平　　日 9：00～19：00
　　　　　　土・日・祝 9：00～17：00
■修理依頼　365日・24時間受付
■サービス部品注文　365日・24時間受付

三菱電機冷熱相談センター

三菱電機冷熱製品に関する技術内容全般についてのご相談は

フリーボイス **0037-80-2224**（無料）

<携帯電話・PHS・IP電話の場合> 073-427-2224（有料）

■電　話　平　　日 9：00～19：00
　　　　　土・日・祝 9：00～17：00
■ファックス　365日・24時間受付　フリーボイス 0037-80-2229（無料）
　　　　　<IP電話の場合> 073-428-2229（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

R11B

MEMO

MEMO

MEMO

仕様

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

室内ユニット仕様表　ヒートポンプ冷暖房兼用セパレート形・空冷式・直接吹出形

● PKH-RP･KAL7形

50／60Hz

形名	56形	63形	71形	80形
騒音：強―中―弱　dB	48―40―33			
風量：強―中―弱　m³/min	17.2―13.6―9.4			
補　助　ヒ　ー　タ　kW	―――			
外形寸法（高さ×巾×奥行）　mm	325×1100×258			
質量　kg	16			

※電気特性は製品に貼付してあります製品銘板に記入してあります。

様式 1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）

年　月　日～　年　月　日　管理番号

施設所有者				設備製造者			
施設名称		系統名		設置年月日			
施設所在地		電話		使用機器	型式		製品区分
運転管理責任者		電話			製番		設置方式　現地施工
点検事業者　会社名		責任者			用途	空調用	検知装置
点検事業者　所在地		電話		冷媒量(kg)	合計充填量	合計回収量	合計排出量
使用冷媒　R410A	初期充填量(kg)	点検周期　基準	実績(月)				排出係数(%)

作業年月日	点検理由	充填量(kg)	回収量(kg)	監視･検知手段(最終)	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	チェックリストNo.	確認者

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。＊JRA：社団法人　日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

●フロンの見える化

室内機および室外機に表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。
この製品はフロン回収破壊法の第1種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。
室内機に表示されているフロン類の二酸化炭素換算値は、一般的な組合せ（室外機1台／室内機1台）での、冷媒配管長30mを想定した冷媒量を元にしています。
システム全体でのフロン類の二酸化炭素換算値は、室外機に表示されています。（3135kg～16.1ton）

愛情点検

●長年ご使用のエアコンは点検を!

●パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。

ご使用の際このようなことはありませんか		▶	ご使用中止	
	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常や故障がある。			故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

お買上げ販売店名	電話
お買上げ(据付)日	年　月　日

三菱電機株式会社　静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3－18－1
BG79U729H11